

平成29年度 自己評価・自己点検のまとめ

平成30年3月20日

認定こども園 みどりのかぜエデュカーレ

当園では、社会福祉サービスの充実と教育・保育の質の向上を図り、子ども達の健やかな成長と安全確保、また、職員一人ひとりの質の向上を図るためにチェックリストを活用し、良かった点や改善点などを再確認しております。

今後益々地域に根ざした施設となるべく、皆様に安心して頂けるような環境を整え、子ども達のために職員一同努力していきたいと思っております。

1、危機管理について

① 子どもの事故や怪我についての対応の仕方

保育する環境について、職員の慣れや油断によるヒヤリハットが多く見られた。子どもの予想される動きの把握、子どもの怪我、事故について安易に考えているため、怪我や事故の起きない環境づくりの重要性を再確認するとともに、現場での状況を加味した上で、安全で過ごしやすい環境づくりに努め、怪我をした子どもに対しての迅速な処置や配慮も重要であることを、職員一同共通理解をしっかりと図っていく必要がある。

そこで、日々の保育の見直しと共に職員の立ち位置や役割分担、また、日常、小さい子ども達の手の届く範囲に事故や怪我の原因となるもの置かないことをはじめ、子どもの集団生活の場としての常識を再確認する事、また、小さな怪我に対してもしっかりとした対応と報告を行うことを職員一人ひとりが声を出し合い、大切な命を預かっている事を自覚して見守っていく。

また、安全に過ごすために、遊具の点検は大切だと同時に快適な日々を過ごすためには、環境整備にも力を入れていき、常に身の回りには緊張感と配慮が必要だという事を一人ひとりがきちんと自覚し行動していく事が大切だと思う。

② 災害などへの対応について

災害などへの対策については、毎月の避難訓練を通して、職員の動線、地震や火災の避難の仕方などが日常においてもその成果を発揮できる程十分に身につけて来ていると感じる。子ども達が騒いだり、泣いたりせずに担任の指示に従って行動する姿にも避難訓練の積み重ねている成果が見られている。しかし、いざ本当に災害があった場合我々の使命である「命を守る」ことを第一に考え、落ちついて行動する事が出来るのかと考えると、これからも災害対応をしっかりと職員で共通理解をはかりたい。

2、保護者対応について

当園は送迎の際に毎日保護者と関わっている。

その日の楽しいエピソードや成長した点など、嬉しい知らせも大切であるが、お願いや怪我などの報告が職員の引継ぎが上手くなされず、直接知らせず電話連絡をする事が多かった。

また、子どもが担任と信頼関係を結ぶことによって保護者も信頼してくれるが、楽しいエピソードのみで終了してしまうことがあるので、保護者には毅然とした態度で接し、必要な事をきちんと伝えることも大切だと感じている。

保育者は、保護者との対話に苦手意識を持たず、送迎の際には小さな事でも一言声をかける習慣が出来、保護者の気持ちをしっかりと受け容れる体勢を整えていることは良い事だと思う。しかし、何かあった時に直接保護者の顔を見て必要事項を伝えられないことは不信感につながる。信頼されるには、保育教諭の年齢に関係なく、子どもをしっかりと理解し、笑顔で接し、誠意が伝わるよう一人ひとりが気持ちを込めて接して行えるように今後も努力していきたい。

自己点検分析

① 危機管理

災害はもちろん、日常の活動中に起こりうる事故や怪我に対し、ひとり一人自覚しながら見守り、取り組んでいるように思うが、行事に追われた時や保育者自身の心に余裕がない時こそ細心の注意と心配が必要である。

また、小さな怪我やトラブルなども、保護者への連絡、職員同士の申し送り、お詫びや情報提供は欠かさない様に共通理解を図っていく。

② 保護者対策

保護者一人一人を大切に、しっかりと連絡を取り合っていく事によって信頼関係を築くことが出来る。

職員全体で共通理解を図り、毅然とした保護者対応をする事により、園としての統一化が図っていかれると思う。

クレドの見直し

園の信念をまとめあげた「保育クレド」は園業務全てに通じるものであり、職員全員が同じ方向を向いて歩いて行くために、必要不可欠である。年度の初めには全スタッフで読み合わせをし、心新たにスタートを迎える様にしているが、その時、その場面に応じた対応や心構えを確認していくことが大切である。

まとめと今後の展望

《園として》

社会福祉サービスの質の向上をめざし、福祉の精神を忘れることなく、より一層充実を図り、教育・保育はもちろん、災害時の避難場所としての活用にも力を注いでいく事をスタッフ一同心に留めて過ごしていく。また、スタッフが様々なことに興味を持ち、成長出来るよう園内、園外での学びの場や体験の場を提供していく。

それぞれの課題の改善策を実行する事によって、今まで以上に子どもの事故や怪我を減らし、保護者との信頼関係を築き、大切な命を安心して預けたいと思えるような、そして、子どもたちが健やかに成長できるような園として、スタッフ一同力を合わせて歩んでいきたい。

《スタッフとして》

スタッフ一人一人がその場その時によってしっかりと責任を持って取り組んで行く事により、各々が成長していくことにつながっていく。

子ども達の大切な命を守るという大きな使命に基づき、今後の社会を支えていく大切な人材の育成につながる仕事をしているという自覚を、一人ひとりが心に刻み、自分自身を磨き、成長していく事が大切だと思う。

我々自身も、社会の一員であり、周りの人々に支えられているということを十分理解し、自分の反省点や今後への目標を掲げ、次へのステップへと向かわなくてはならない。我々一人ひとりが周りの人たちの役に立てるように日々努力していく事が出来るよう努力していきたい。

園の職員目標「ラブ コミュニケーション」を実践し、スタッフ全員が毎日喜んで園に来て子ども達と一緒に安心して楽しい時間を送る事によって意欲が沸き、今後の展望が開けていく事を期待したい。